

平成20年度技術士第二次試験問題【経営工学部門】

必須科目

10時～12時30分

Ⅱ 次の5問題のうち3問題を選んで解答せよ。(問題ごとに答案用紙を替えて解答問題番号を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。)

Ⅱ－1 今日の我が国の製造企業が抱える課題とその対応策について、次の問いに答えよ。

(1) 経営工学の視点から最も重要と思われる課題を挙げ、製造企業が置かれた市場環境や時代背景とともに筋道立てて説明せよ。

(2) 取り上げた課題について、Q、C、Dの中から重要であるものを選び、その対応策を検討せよ。

Ⅱ－2 サービスマネジメントの本質は価値の高いサービスをいかに行うかにあると言える。サービスの特性として、“無形性”，“生産と消費の同時性”，“顧客との共同作業”，“結果と過程の等価的重要性”が挙げられている。次の問いに答えよ。

(1) サービスマネジメントでは、この4つの特性に対して、どのような対応を図る必要があるか、説明せよ。

(2) サービスを受ける側によって、これら4つの特性が価値あるものとして評価されるために必要な事柄について述べよ。

Ⅱ－3 ロジスティクスは、JIS Z 0111:2006 物流用語では次のように定義されている。

「物流の諸機能を高度化し、調達、生産、販売、回収などの分野を統合して、需要と供給との適正化を図るとともに顧客満足を向上させ、併せて環境保全、安全対策などをはじめとした社会的課題への対応を目指す戦略的な経営管理。」

(1) 上記の定義を参考にして、具体的に取り組むべきロジスティクス課題を3つ挙げ、その背景を説明せよ。

(2) (1)で挙げた3つの中から1つを選び、その課題への対応策についてあなたの意見を述べよ。

Ⅱ－４ 次の需要予測の問題について解答せよ。

- (1) ある製品の日々の需要量の時系列データが図に示されている。この時系列データに対する適切な予測を行うための手順について述べよ。
- (2) 将来、需要の傾向は変化すると考えられる。需要傾向の変化を検出するための方策について考えを述べよ。

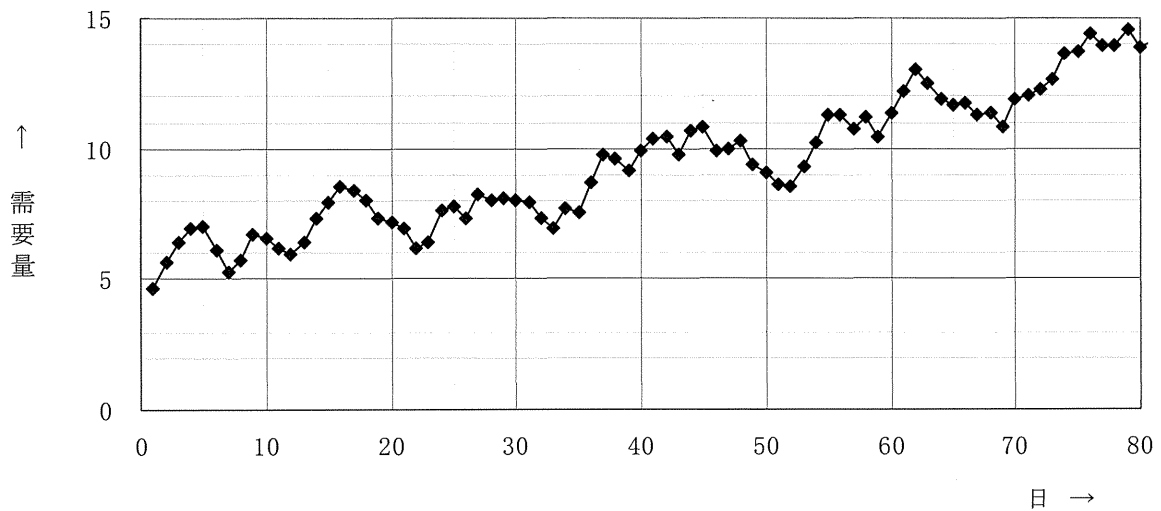


図 需要量の時系列データ

Ⅱ－５ 日本の企業がさらされている為替リスクについて、具体例を挙げて説明し、その為替リスクへの対応策を述べよ。